

# 歯科口腔外科

歯科口腔外科は口の外科です。

小さな手術では血をサラサラにする薬を飲んでいての方の抜歯や親知らずの抜歯、歯根の先に膿が溜まる歯根嚢胞の手術などを行なっています。

大きな手術として舌や歯茎にできたがんの手術があります。口内炎が1ヶ月で治らない場合はがんの可能性がありますので早めの受診をお勧めします。



- 下記の症状のある方は、お気軽にご相談ください
- ・歯がズキズキする ・歯がぐらぐらする ・歯がしみる
  - ・噛むと痛い ・入れ歯があたって痛い ・口内炎
  - ・口が開けにくい ・口の中に硬いしこりがある

	月	火	水	木	金	土
午前 9:00~12:00	C33 森寺	森寺	担当医 (兵庫医大)	森寺	森寺	森寺
午後 14:00~17:00	C33 森寺	森寺	担当医 (兵庫医大)	森寺	森寺	

兵庫医科大学 歯科口腔外科  
主任教授 岸本 裕充 先生の  
外来を月1~2回(不定期)行い  
ます。  
事前にお問合せください。

## 内覧会を開催しました

西宮渡辺病院の新棟完成に伴い、地域の方々に見学いただくために、10月14日に内覧会を開催致しました。

当日は、地域の医療機関の方々、患者様等を含め、183名の方に参加頂きました。これからも、より地域の健康増進と急性期医療への貢献、地域医療支援を目指して参ります。



## 西宮渡辺友の会を開催しました

コロナの影響でお休みさせていただいておりました「西宮渡辺友の会(人工関節友の会)」ですが、このたび10月21日に西宮渡辺病院新棟5階 大会議室にて、4年半ぶりに開催させていただきました。総勢50名のご参加をいただき、人工関節センターの畠中先生、松浦先生、センター長の福岡先生からの講演、リハビリチーム

による実演また、特別ゲストにマジシャンのMr.Keiをお招きしての華麗なマジックをご堪能いただきました。

これからも引き続き、地域の方や患者様と触れ合えるこのような「友の会」を開催させていただきます。



## 法人関連施設

- 社会医療法人 渡邊高記念会 / 西宮渡辺病院 / 西宮渡辺心臓脳・血管センター / 西宮渡辺脳卒中・心臓リハビリテーション病院  
西宮わたなべ内科・心臓リハビリクリニック / 西宮渡辺心臓脳・血管センター 東灘クリニック / 介護老人保健施設ハートケア西宮わたなべ / グループホームてまりの家 定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所わたなべ / グループホーム西宮わたなべ / サービス付高齢者向け住宅ひだまり  
すくすく保育 わたなべ / 訪問看護ステーション西宮わたなべ / 西宮渡辺心臓脳・血管センター附属訪問看護ステーション / 健康塾  
通所リハビリテーション / 居宅介護支援センター西宮わたなべ / 西宮渡辺ヘルパーステーション / 西宮市中央在宅療養相談支援センター
- 社会福祉法人 高明会 / 特別養護老人ホーム シルバートピア西宮 / 居宅介護支援センターはまかぜ

わたなべニュースに対する皆様よりのご意見・ご感想をお待ちしております。  
当院各階詰所・1F受付に設置しております 「ご意見箱」 をご利用ください。

【発行元】社会医療法人 渡邊高記念会 法人本部 【TEL】 0798-74-2630 【FAX】 0798-74-0199  
【URL】 <http://www.n-watanabe-hosp.jp/>



# わたなべニュース

Nishinomiya Watanabe Hospital Public Relations Magazine



vol.130  
2023.11.20

## 西宮渡辺病院 開院記念と新棟完成

「理事長 ご挨拶」 社会医療法人 渡邊高記念会 / 理事長 佐々木 恭子



11月1日は西宮渡辺病院そして私共の法人の58回目の誕生日です。  
1965年にスタートをきった病院は、着実に成長を遂げてきました。  
現在の社会医療法人となったのが平成22年のことですから、そこからも最早13年です。  
池田町にある西宮渡辺心臓脳・血管センター開設からもはや17年の歳月が経過しています。  
皆様のご支援の元、法人は日々前進を続けることができました。本当に有り難うございます。

コロナもまだ油断は禁物と言いながらも共存という着地点に落ち着き、病院もそれなりに日常を取り戻しつつあります。多大なご迷惑とご不便をおかけ致しましたが、何とか無事に大きな荒波は乗り越えられたと思っています。皆様のご協力の賜物、心より御礼申し上げます。

コロナ禍の日々は、地域医療を考える日々でもありました。  
高齢化による地域の変化は我々に求められる医療の変化にもつながっています。  
西宮渡辺病院西側の増築棟の工事も完成、耳鼻咽喉科、眼科、歯科口腔外科の診療も始まりました。高齢化を意識した取り組みの開始です。

高血圧や糖尿病の方の眼底検査、耳鼻咽喉科や歯科口腔外科を中心に多職種での嚥下訓練や咀嚼の問題を考える体制の強化も可能となりました。  
耳鼻咽喉科と循環器科が一体となり、心不全の防止や睡眠の質を考えるための睡眠時無呼吸症候群への対応も強化されます。  
新しい科の始まりは各々の専門分野での病院診療機能の広がりと共に生活の質の向上や疾病予防等、健康寿命を意識した取り組みを可能とするはずです。

西日本で初めての開設であった心臓リハビリを専門とする甲子園の心臓リハビリクリニックは、センター附属東灘クリニック、前浜町の脳卒中・心臓リハビリ病院へと広がり、今年の春、甲子園のクリニックは柳本町の関西スーパー北側に移転、西宮わたなべ内科・心臓リハビリクリニックと発展、本院との連携強化を目指すクリニックへと変化しました。

ウクライナやパレスチナでの戦争、明日は我が身かと不安になる中国の動きと台湾情勢、毎年記録が更新される人口減少、令和4年度の日本の人口減は遂に西宮市の人口を上回る55万6千人となる中、西宮市の人口もすでに少子高齢化の極みに到達しつつあります。西宮市は財政危機の状況とも聞いています。周囲を見渡すと未来への不安は増すばかりです。

それでも・・・、それだからこそ私達は元気を失わず諦めず、新しい未来を作っていくと決意しています。  
皆様のご健勝を祈りつつ、温かいご支援とご協力を心よりお願い致します。

「院長 ご挨拶」 西宮渡辺病院 / 院長 佐々木 健陽



新築棟が完成しました！  
新築棟が完成し、耳鼻咽喉科、眼科、歯科口腔外科の診療が始まりました！

当院は昭和40年に開院以来、58年にわたり地域の皆様の健康を支えてまいりました。

在宅から心臓・循環器・脳・脊椎・関節分野に特化した医療を提供し、皆様の健康をサポートしてきましたが、「老いても自分のことは元気にできるように」を実現するために、新しい診療科目を開設いたしました。

これからも、西宮渡辺病院は一層の努力で、地域の皆様の健康を守り続けます！



# 西宮渡辺病院 開院記念と新棟完成

## 社会医療法人 渡邊高記念会/ 副理事長 渡邊 慶明



11月1日を迎え、当法人は皆様のご支援のおかげでまた一つ年を重ねることができました。心から感謝申し上げます。当法人は、私の祖父が地域の役に立ちたいという思いから設立されました。その思いを胸に、これからのこの地域に必要なものは何か、地域の人に役に立つものは何かを考えたものが、今回10月に完成した本院の新館になります。ここ数年はコロナに覆いかぶさっていましたが、これからはそれに加え超高齢化問題との闘いが顕在化していきます。超高齢化に対して必要なものは何か。その答えの一つは、この新館のようにアクセスしやすい小回りの利く幅広い治療の行える病院だと考えています。地域貢献は我々の使命であります。その一方で様々な問題への対処には、地域の皆さまのご理解、ご協力が不可欠です。また法人の新たな一歩が始まります。引き続き皆様の温かいご指導・ご鞭撻のほど、宜しくお願い致します。

## 社会医療法人 渡邊高記念会/ 副理事長 佐々木 俊治



11月1日をもちまして、当院は58周年を迎えることができました。これも地域の皆様の変わらぬ支援とスタッフの献身的な働きがあったことであり、心より感謝申し上げます。さて、この度、10月23日に新棟が完成し、眼科、耳鼻咽喉科、歯科口腔外科を開設いたしました。これらの科は、「眼」、「口」、「鼻」といった感覚を司る重要な器官の疾患に対応しております。最新の機器を備え、充実した体制で、地域の皆様をお迎えできることを大変嬉しく思います。これらの診療科では、命に直結する重篤な病気だけでなく日常生活の質に大きく関わる病気も診療しております。これまで「歯が痛い」、「鼻が詰まる」、「目が見えにくい」といった悩みを抱えつつ、他の病気も持ちながら通院が困難であった方々にも、この新棟が一助となればと存じます。また、新棟には最新設備の病室や内視鏡室、化学療法室を備え、さらに過ごしやすい環境を整えております。特に5階には甲山を一望できるホールがあり、ここを活用し地域の皆様と共に健康講座などを開催していく予定です。当院は、これまで西宮渡辺心臓脳・血管センターと共に、阪神大震災や新型コロナウイルスの流行などの難局に立ち向かって参りました。今後も命を救う病院としての使命を全うするとともに、命の質を高める取り組みにも一層力を入れてまいります。長い間、当院を支えてくださっている皆様への深い感謝と共に、今後とも変わらぬご支援とご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

## 西宮渡辺病院/ 副院長 岡田 憲幸



毎年11月の開院記念日を迎えるたびに当院の歴史とその重みを感じます。昨年この欄で「中でも今一番楽しみなのは隣で建築している新棟です」と書きましたが、ついに完成しました。窓が大きく広々とした5階会議室では甲山から六甲山まで見渡せる眺望。4階は旧棟からつながる新病棟のフロアで、4人部屋、個室ともきれいでホテルといってもよいくらいです。3階に新内視鏡室が完成、そしてその隣にある化学療法室は中でもとてもゆったりとしていて、その大きな窓から見られる眺望によって発するエンドルフィンにはきっと癌細胞にも効果がある！ことでしょう。1階耳鼻咽喉科、2階眼科、3階歯科口腔外科と首から上の科が充実し、期待に胸を膨らませていますが、箱が大きくなっただけではいけません。内科・外科がますます充実していかなければいけないと気を引き締めているところです。

## 西宮渡辺病院/ 副院長 正田 悦朗



11月1日に58回目の開院記念日を迎えるとともに、10月に新棟が完成し、眼科、耳鼻咽喉科、歯科口腔外科の診療が始まりました。また、少し前には整形外科も新しい診察室へと移動いたしました。眼科、耳鼻咽喉科、歯科口腔外科は整形外科とは全く関連のないように思えますが、整形外科を受診される高齢の方には目（白内障や緑内障など）や歯（入れ歯、インプラントなど）、耳（難聴やめまいなど）に問題があるというケースが多く見られます。また、骨粗鬆症の薬では、口腔内に合併症が起こることもあり、歯科口腔外科との連携は非常に大切となっています。今回、骨粗鬆症の投薬開始時に院内で歯科を受診していただくことができるようになりました。また、歯科でのレントゲンで骨粗鬆症が診断されることもあります。このような医学歯学連携をまず院内から開始し、地域へと広げていきたいと思っております。開院記念日、新棟完成を機に、整形外科も新たな気持ちでさらに充実した治療を提供していきたいと考えています。

# 新任医師ご紹介

## 西宮渡辺病院 整形外科 河村 真気 かわむら まさき



本年10月より西宮渡辺病院 整形外科医師と働くこととなりました河村と申します。外傷分野、脊椎分野を中心に整形外科疾患の治療で地域の皆様のお役に立てればと思っております。何卒よろしくお願いたします。

## 西宮渡辺病院 整形外科 中井 智也 なかい ともや



本年10月より、西宮渡辺病院 整形外科医師として勤務させていただくことになりました中井と申します。西宮市周辺の地域に貢献できるよう尽力いたします。半年と短い期間ですが、何卒宜しくお願い致します。

# 新棟での新しい診療科のご紹介

## 耳鼻咽喉科



耳鼻咽喉科の診療は、10/23（月）から開始しました！

下記症状でお困りの方は、お気軽にご相談ください

耳鳴り・中耳炎・外耳炎・めまい・難聴・睡眠時無呼吸症候群（SAS）  
アレルギー性鼻炎・副鼻腔炎・咽頭痛・花粉症



### ●睡眠時無呼吸症候群（SAS）に関して

当院では、下記の睡眠時無呼吸症候群（SAS）の診療も行っております。自分では気付いていなくても、ご家族や友人・同僚などからいびきや居眠り、寝ている間の無呼吸を指摘されたら、SASを疑ってみることも必要です。

また、睡眠中の呼吸の状態を自宅で簡単に実施できる検査機器やスタッフもそろっています。お気軽にご相談ください。

### ●アレルギー性鼻炎、副鼻腔炎に関して

木曜日の午後 アレルギー専門の関西医科大学総合医療センター耳鼻咽喉科・頭頸部外科診療部長 教授 朝子 幹也 先生の外来診療を開始しました。

朝子 幹也先生は、副鼻腔炎やアレルギー性鼻炎の手術加療を手掛ける鼻の専門医であり、特に、好酸球性副鼻腔炎や内反性乳頭腫、若年性血管線維腫など難治性の症例に手腕を発揮されている先生です。

副鼻腔炎やアレルギー性鼻炎などでお困りの方は、お気軽にご相談ください。

		月	火	水	木	金	土
午前 9:00~12:00	C12	日高	西村	北野	伏見	村田	福武 (1・4・5週) 山本 (2,3週)
午後 14:00~17:00	C12		友田 (1・3・5週) 西本 (2・4週)	北野	朝子幹也 アレルギー専門	朝子愛梨 (1・3・5週) 布川 (2・4週)	



## 眼科

10/23から、西宮渡辺病院 新棟2階で、眼科での診療を開始しました。

白内障、緑内障、網膜症、加齢黄斑変性、眼瞼下垂など、多岐にわたる眼科疾患に対して、的確に検査・治療・手術を行います。白内障手術は、外来手術もしくは入院手術どちらにも対応可能です。

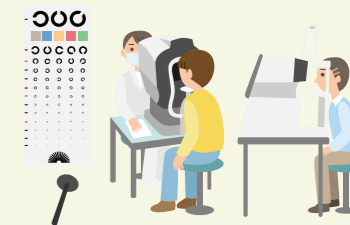
また、当院眼科では、最新鋭の医療機器も導入しております。

特に眼底検査の機器は、散瞳をしない状態、待ち時間なしで広角に撮影できる最先端の検眼鏡（共焦点走査型ダイオードレーザ検眼鏡 Mirante）を導入しています。糖尿病網膜症の患者さまなどは、散瞳しなくても眼底の広範囲の状態を調べることができるのでとても有用です。散瞳する患者様は、これまで車で来院できませんでしたが、お車での来院も可能になります。

目の病気は、進行するまで自覚症状が無いことが多く、視力検査だけでは、目の病気はわかりません。

この機会に眼底検査を受けましょう。

見え方のことでお困りのことがあれば、ぜひご相談ください。



眼科 依藤 彰記

		月	火	水	木	金	土
午前 9:00~12:00	C21	依藤	依藤	依藤	五味(月1回)* (兵庫医大主任教授)		担当医 (11/4~) (兵庫医大眼科)
	C22				依藤		
午後 14:00~17:00	C21	特殊検査		依藤	特殊検査 ~15:00		

\*兵庫医科大学 眼科 主任教授 五味 文先生の外来は、木曜日の月1回（不定期）となりますので、事前にお問合せください。